

◆「児童生徒に対する性の多様性に係る指導の必要性」について

文責 佐藤文宣

1 生徒へのアンケートから（「性の多様性についての学習」の前に行ったアンケート）

問：「あなたは自分の体の性に違和感を抱いたことがありますか」

※ ア・イは、どの中学校も、これまでに「性の多様性に係る指導」を受けていない段階での調査。

ア

中学生へのアンケート調査から  
体の性に違和感を抱いたことがありますか

【A中学校 200人 H30】	抱いたことがある:6人	わからない:20人
【B中学校 240人 R3】	抱いたことがある:15人	わからない:16人
【C中学校 440人 R3】	抱いたことがある:16人	わからない:39人

○アより

3つの中学校において、自分の性に違和感を抱いた経験があると回答した生徒は若干名いた。割合的には3%~6%であった。

○イより

「わからない」と回答した生徒の中には、ウの学習後の感想のように、悩んだ上に「わからない」と回答した生徒もいることが分かった。

イ

中学生へのアンケート調査から  
体の性に違和感を抱いたことがありますか

【A中学校 200人 H30】	抱いたことがある:6人	わからない:20人
【B中学校 240人 R3】	抱いたことがある:15人	わからない:16人
【C中学校 440人 R3】	抱いたことがある:16人	わからない:39人

ウ

なぜわからないと答えたのか

●私はアンケートの「自分の性に違和感を感じたことはありますか」の欄に「わからない」と書きました。それは私自身、女の子を好きだと感じたことがあるからです。ずっと伸ばしていた髪をショートカットにした時もなんだかしくりきたことを覚えています。

でも自分のことは女だと思えます。いや、どちらでもあると思っています。  
このことは友達には言えません。

エ

中学生へのアンケート調査から  
体の性に違和感を抱いたことがありますか

【A中学校 200人 H30】	抱いたことがある:6人	わからない:20人
↓		この数値の違いは？
【A中学校 200人 R4】	抱いたことがある:19人	わからない:22人

○エより

同じ中学校で調査した4年後のアンケートの比較である。H30とR4の数値の違いは、生徒たちの多くが小学校の時に「性の多様性についての学習」を経験していることによるものと考える。  
小学校からの指導により、教員にカミングアウトしている生徒も数名いた。

## 2 「性の多様性についての学習」後の生徒の感想から (A 中学校 R4)

### 【性自認に対する悩み】

- ・私は女子だけど、一時期、女の子が好きになったことがあります。その子と付き合ってみたいと思う時期がありました。今はそんな感情は一切なくなりましたが、女の子が好きだった時期は、「私はキモイのかな？」と悩んでしまいました。今日の学習をして、私はキモくなくなった。みんな違ってみんないいんだと思いました。
- ・私は最近、バイセクシャルなのではないかと思っています。いつか母などに言わないといけないと思っているけど、なかなか言い出せずにいます。私が親である母にさえ言いづらいのに、みきさん（指導資料の登場人物名）は自分の性について、あかの他人であるたくさんの人に話すことができ本当に尊敬します。言うことも大変だけど、言わずに生活する方がもっと大変だったり辛かったりするのだろうと思いました。

### 【友達からのカミングアウト】

- ・私の友達にも男の子になりたいと思っている子がいます。その子にそのことを言われたときは、私は家ですごく悩んでしまいました。そして、数日間は、その子とあまり話せませんでした。今日の学習のような性についての学習は必要だと思いました。

### 【誹謗中傷】

- ・私の友達に女の子でズボンをはいている人がいます。その子と遊んでいたときに、別の学校から入学してきた男子が、「あの子は女子なのに、ズボンをはいているんだけど、キモくね？」と言ってきました。私はその時、何も言えずに話をそらしてしまったことを後悔しています。今日の学習で、きちんと注意できる人になりたいです。

### 【これからの生活・社会について】

- ・今日の学習で改めて性の多様性について知ることができました。ジェンダーにもあんなにたくさんの種類があることを知り、それだけ人それぞれに心や体の違いがあるのだと思いました。今後、私は差別的な発言に気を付けたいです。そして、みんなと一緒に、誰もが自分らしく過ごせる環境を作っていきたいと思います。
- ・今日の学習を通して思ったことは、LGBTの人が勇気を出してカミングアウトしたことに対して、みんなが「すごいね！」と言う社会はどうなんだろう？と思いました。こんな現状が嫌です。LGBTが当たり前になるといいと思いました。

○感想から、性的マイノリティで悩んでいる生徒がいること、キモいなどの誹謗中傷も見受けられることがうかがえた。

○「性の多様性についての学習」により、新たな気づきや発見があり、誰もが自分らしく生きることができる社会に目を向けた生徒が多くいた。

### 【「性の多様性についての学習」を行ってよかったと思うこと】

- SOGIについて正しい情報を伝えることができた。  
（「あなたはあなたのままでいいんだよ」ということ）
- 「いつでも相談してね」というメッセージを送ることができた。
- いじめ、誹謗中傷を防止することに繋がった。
- 自尊心を高めることに繋がった。
- 学校全体が温かい雰囲気になった。（学校長より）

当事者の苦しみ  
岡山大学ジェンダークリニック受診の  
性同一性障害者1,167人への聞き取り

◆自殺念慮	58.6%
◆自傷・自殺未遂	28.4%
◆不登校	29.4%

※ 『封じ込められた子ども、その心を聴く』  
中原幹也著 フクロウ出版より

「性の多様性についての学習」は子どもの命を救う教育である。（佐藤私見）